

## 東名遺跡が多くの人々に末永く愛され守られる方法について市民参加により検討

佐賀市では、日本最古の湿地性貝塚である東名遺跡（約 8,000 年前、縄文時代早期）について、将来に渡って保存・活用していくため、現在、『東名遺跡整備基本計画』の策定作業を進めており、今後、この計画に基づいて、史跡や周辺の整備等、様々な取り組みを進めていく予定です。

そこで、全国的にも大変貴重な東名遺跡が、多くの人々に何世代にもわたって愛される場所にしていくため、遺跡での新たな楽しみやイベント等、より有効な活用方法について、市民が参加しアイデアを出し合っていくことを目的としたワークショップを開催しました。

ワークショップは、本年9月28日と10月5日の2回にわたり、東名遺跡に隣接する東名縄文館（佐賀市金立町千布/巨勢川調整池内）において、東名遺跡の近隣にお住まいの方々をはじめ、日頃より東名遺跡周辺でスポーツや自然観察等様々なご活動をされている方々、そして市の公式ホームページの一般公募によりご興味を持たれた方々等、総勢50名の皆さんにお集まり頂きました。

全2回のワークショップでは、それぞれ「東名遺跡の歴史・環境資源の現状を知ろう」（第1回）、「東名遺跡の活用方法と市民の取り組みについて考えよう」（第2回）をテーマに行い、東名遺跡の貴重な歴史資源と、遺跡を取り囲む巨勢川調整池ならではの自然環境を活かした、縄文生活文化体験や自然体験等様々な活動を、市民や観光客等多くの人々に向け展開していくアイデアが出されました。



第1回 2019年9月28日（土） 13:30～16:00

### 「東名遺跡の歴史・環境資源の現状を知ろう」

東名遺跡の保存活用事業の現状と、先進的な遺跡の活用の取り組みについて学び、東名遺跡の将来について話し合いました。



第2回 2019年10月5日（土） 13:30～16:00

### 「東名遺跡の活用方法と市民の取り組みについて考えよう」

東名遺跡の現地を見ながら、今後の活用方法や取り組みについて具体的に考えていきました。



今後の佐賀市の取り組みに反映

## 第1回ワークショップの様子

### 「東名遺跡の歴史・環境資源の現状を知ろう」

#### <プログラム>

- ①東名遺跡の保存活用の経緯と現状について知ろう
- ②先進的な保存活用の取り組みについて知ろう
- ③東名遺跡の将来について語り合おう



#### ■お集まり頂いた参加者の皆さんの顔ぶれ

東名遺跡の将来の望ましい姿について話し合うにあたり、少人数のグループに別れて自己紹介をいたしました。

参加者の皆さんは、普段から東名遺跡周辺において、グランドゴルフ・ウォーキング等のスポーツ活動や花づくり・草刈り等の環境まちづくり活動をされている方が多く、歴史研究・解説指導、絵画・写真・PCといった様々な特技をお持ちの方々が、改めてお知り合いになり交流を深めることができました。

#### ■東名遺跡の現状と遺跡資源の先進的な保存活用の取り組みについて

東名遺跡が初めて発見された1990年からの、佐賀市の調査研究・保存活用に関する取り組みの経緯・現状と、今後の方向性について説明を行いました。

また、全国の縄文～弥生時代の遺跡における保存活用の取組事例についても紹介し、先進的な遺跡では、展示解説にとどまらず、様々な体験活動が行われ、それらを支える市民活動組織等の取り組みも充実していることがわかりました。

#### ■東名遺跡の将来の望ましいあり方について

東名遺跡の将来の望ましいあり方（理想的な姿・利用方法等）について、少人数のグループで話し合った結果、下記のようなキーワードに整理されるようなアイデアが考え出されました。

それらをまとめると、参加者の皆さんは、東名遺跡の将来について、老若男女幅広い層の利用者により、縄文の歴史資源を活かした憩い・交流・学習体験等様々な活動を行うことのできる、世界に向けて誇りに思えるような、緑豊かな場所となるような姿を望まれていることがわかりました。

また、その姿を実現するために、展示施設や工房といった利用の充実のための施設整備や、東名遺跡に訪れやすい交通手段等についても検討していく必要があるといった、課題についても出されました。

#### <東名遺跡の将来の望ましいあり方>

議論の観点	将来の望ましいあり方（キーワード）
どのような人々が？	年齢（老若男女、子供等）、利用（観光客、ボランティア等）、国籍（外国人等）
どのような活動ができる？	憩い、交流、歴史学習・研究・体験（縄文食、編みカゴづくり等）、自然体験（散策、キャンプ、ボート等）、スポーツ（グランドゴルフ、サッカー等） イベント（お祭り等）、情報発信（世界へ）
どのような場所？	環境の状態（緑豊かな、公園のような等）、考え方（世界に通じるような、誇らしく思えるような等）
その他（必要な整備等）	利用施設整備（展示施設、工房、キャンプ場、レストラン等）、アクセスの整備（歩道、交通手段等）

## 第2回ワークショップの様子

### 「東名遺跡の活用方法と市民の取り組みについて考えよう」

#### <プログラム>

- ①東名遺跡を見に行こう
- ②東名遺跡の活用方法と市民の取り組みについて考えよう
- ③発表・まとめ



#### ■東名遺跡の現地確認について

東名遺跡の活用方法について話し合う前に、東名遺跡とその周辺が現在どのような状況になっているのかを知るために、実際に現地に赴き確かめました。

またその際、日頃から東名遺跡周辺において活動されている、グラウンドゴルフ、花壇づくり、緑地管理、野鳥観察等に係わられている市民活動団体の代表の方々から、実際の活動や利用の状況についても解説して頂き、より確かな実態について理解を深めていきました。



#### ■東名遺跡の活用方法と市民の取り組みについて

現地確認の後、東名遺跡の活用方法と市民の取り組みについて、5つのグループに分かれて話し合っていました。

それらの結果、東名遺跡という歴史資源を活かした、縄文時代のものづくり、生活体験等の学習体験。巨勢川調整池の緑豊かな環境と広いスペースを活かした、自然観察、キャンプ、水辺遊び等の自然体験や、休憩・散策、グラウンドゴルフ・サッカー等の憩い・スポーツ。また、縄文遺跡の姿を建物に投影させるプロジェクションマッピングや、お祭り、コンサート等の特徴的なイベントを展開していくといった活動メニューのアイデアが出されました。

#### <東名遺跡の活動メニュー>

活用ジャンル	活動内容（キーワード）
縄文時代学習体験	歴史学習（遺跡観察等）、縄文時代ものづくり体験（土器・編みカゴづくり等）、縄文生活体験（縄文食・装束、冠婚葬祭等）、縄文時代クイズラリー・ゲーム、人力車巡り、史跡案内ボランティア活動 等
自然体験	自然観察（植物・野鳥・天体観察等）、花木づくり、砂遊び、水辺遊び（カヌー・縄文丸木舟）、キャンプ、除草のためのヤギ・ヒツジの放牧 等
憩い・スポーツ	休憩、散策、ウォーキング、グラウンドゴルフ、サッカー、駅伝大会 等
イベント	縄文遺跡プロジェクションマッピング、お祭り（お神輿、花火大会等）、コンサート 等

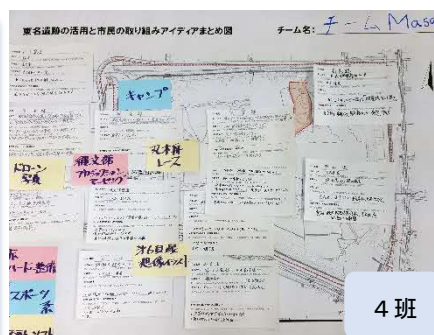
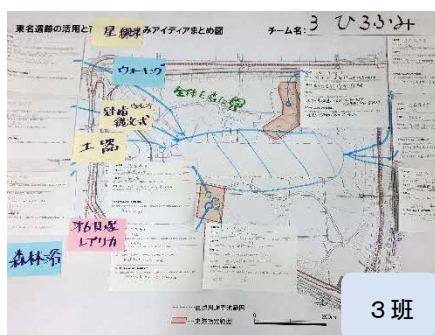
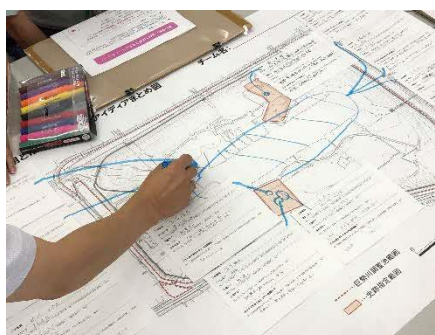
さらに、これらの活動メニューを実現化していくための課題についても話し合っていました。

その結果、緑地・グラウンドの保全管理、案内サインや休憩施設等の環境・施設の整備・管理をはじめ、縄文時代の歴史体験活動のための素材や道具類等の備品類を取り揃えていくことも必要であるとされました。さらに、これらの活動を支えるための地域の参加協力や、ガイドスタッフの養成、サポーター・ボランティア組織の構築、学校や関係機関との連携、国内外へのPRも重要であることが出されました。

## <活動メニューの実現に向けての課題>

課題項目	課題内容（キーワード）
環境・施設の整備・管理等	緑地・グラウンドの保安全管理，樹林の創出（サクラ・カキ・クリ等），案内サイン整備，遊具整備，ウォーキングルート整備，休憩施設整備（緑陰，四阿等），駐車場整備，展望施設整備（物見櫓等），悪天候時の対応（大雨），自然環境への配慮（野鳥への影響等） 等
必要な備品等	標本（貝塚等），縄文食材（ドングリ，魚介類等），画材，双眼鏡・望遠鏡，工具（石斧等），人力車，カヌー・丸木舟，ヤギ・ヒツジ 等
活動を支える体制	地域の参加・協力（自治組織，子供クラブ等），ガイドスタッフの養成，サポーター・ボランティア組織の構築 等
その他	学校との連携（歴史学習への取り込み），関係機関との連携・調整（佐賀市役所・国土交通省等），PR（国内外），費用（整備・管理・運営費用） 等

## <各グループの検討成果>



## おわりに

全2回のワークショップを通じ、参加者の皆さんの、東名遺跡に対する熱い想いや、今後の望ましい史跡の環境と活用のあり方に向けての、様々なアイデアについて、共に考えあっていくことができました。

佐賀市では、今回頂いたアイデアを参考にしながら、さらに技術的な実現性や運営面での検討を重ね、これからの東名遺跡の保存・活用の取り組みに活かしていきたいと考えております。

また、市の様々な取り組みを進めていくにあたり、改めて皆様のご協力をお願いする機会も出てくるのが考えられますので、今後とも何卒ご理解・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

## 発行・お問合せ先

佐賀市教育委員会 教育部 文化振興課 文化財一係 （担当：西田）

〒840-0811 佐賀市大財3丁目11番21号

TEL:0952-40-7368 FAX:0952-26-7378